

災害時における要配慮者への対応についての 意見・要望に対する要望と回答

平成28年8月に実施した議会報告会及び9月の決算特別委員会で議員全員の賛同により合意形成を図った意見・要望に対して、市長からの回答がありました。

また、回答を踏まえ、政策等調整委員会において今後の対応について議論しました。

【要望】（要約）

災害時における要配慮者への

対応については、要配慮者名簿の作成と、関係団体等とも協議して、実態に即した実効性のある仕組みづくりに取り組まれない。

【回答】（要約）

「災害時等要援護者支援制度（ご近所支え合いネット）」の名簿と、「避難行動要支援者名簿」のデータ統合を平成29年度上半期までに終える予定です。

名簿の一本化にあたっては、日頃から地域で要配慮者に深く関わられている民生委員・児童委員や専門機関等とも協議しながら、取り組んでいきたいと考えています。

【政策等調整委員会の議論】

要望に対して着実に進捗していることから、継続して推移を見守ることで意見がまとまりました。

まちづくり・活性化特別委員会で 合意形成を図った意見・要望に対する要望と回答（要約）

① 子育て支援の方策

【要望】

- ・保育料等の保護者の負担軽減の継続を。
- ・保育士の確保のため、国・県へ処遇改善を求める要望と本市独自の支援策の検討をされたい。

【回答】

- ・28年度は、国の基準と比較して、保育料を保育所では約30%、認定こども園・幼稚園では約18%軽減しており、今後も、保護者負担の軽減に取り組んでいく。

② 子どもの医療制度の拡充策

【要望】

- ・病後児保育事業を堅持し、病児保育事業も取り組まれない。
- ・小児科の平日夜間診療や休日当番医制度の安定運営を。

【回答】

- ・病後児保育事業を実施する医院に施設整備経費の一部を支援する予算を計上している。
- ・病児保育事業については、小児科医不足等により、新たな実施は厳しい状況にある。

③ 出合いのサポートに関する施策

【要望】

- ・総合政策的視点で、市当局の所管の見直しも含め、まちづくりの観点から推進されたい。

【回答】

- ・今後も、関係部局、有明圏域定住自立圏各市や関係団体などと連携を強化しながら、施策を効果的に展開していく。

④ 学童保育所・クラブ

【要望】

- ・学童保育所・クラブに特化したニーズ調査の実施をされたい。
- ・利用時間の延長や長期休業時の利用に関する意向など、調査項目の精査をされたい。

【回答】

- ・民設民営学童保育所への補助等を大牟田市まちづくり総合プランのアクションプログラムに盛り込んだ。
- ・今後、利用者アンケートの集計や分析を行い、保護者のニーズを把握し、検討を進めたい。また、保護者のニーズと学童運営関係者との連携、協力を踏ま

え、検討を行っていききたい。

⑤ 地域包括支援センター

【要望】

- ・体制強化を図る上でも恒常的な人員確保が求められていると思われることから、さらなる人員の増員を行われたい。

【回答】

- ・次期介護保険事業計画策定の中で、センターの執行体制のあり方について検討を行っていく。

⑥ 健康いきいきマイレージ事業

【要望】

- ・事業内容の充実に努め、事業協力者の賛同も広く得ながら、成果に結びつく魅力ある事業として、長く継続できるような取り組みの推進をされたい。

【回答】

- ・一定の条件を満たした民間事業所等が実施する健康づくり関連事業のポイント対象事業への登録や、自ら健康づくりを行っている取り組みに対してもポイントを付与するなど、魅力ある事業へとつなげたい。